

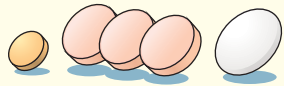
服薬チェック表 ~正しく服用できた時は✓印をつけてください。

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
月/日	/	/	/	/	/	/	/
朝							
夕							

※ワルファリンを服用中の方は、主治医または薬剤師に伝えてください。

二次除菌治療 ( / ~ / )

胃酸を抑えるおくすり  1日2回1週間  
こうせいぶっしつ  
 抗生物質 2種類



4週間以上

除菌判定 ( / )

**除菌治療成功**

除菌治療不成功  
 改めて  
 ご相談ください。

- ピロリ菌感染診断や除菌判定で陰性になった場合には、確認のためもう一度検査する場合があります。
- 除菌治療の前後に、かいよの治療を行うことがあります。

施設名

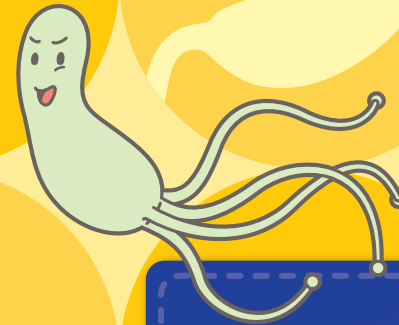
EAファーマ株式会社

2016年4月作成  
 PRT-J04A

ピロリ菌の  
 二次除菌治療  
 を受けられる  
 患者さんへ

監修

大分大学医学部 消化器内科学講座 教授  
**村上 和成**



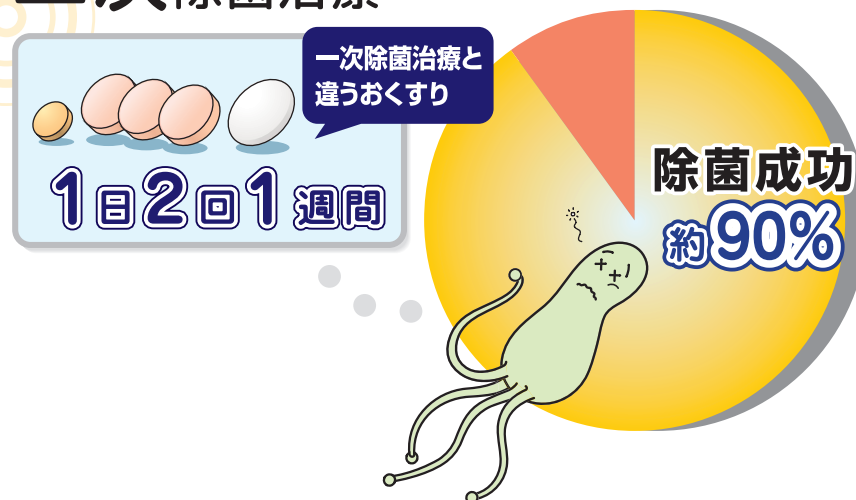
二次除菌治療では、一次除菌治療で服用された2種類の  
抗生物質のうち、1種類を他の抗生物質に変更して治療  
を行います。

- 3種類のおくすりを朝と夕方の1日2回1週間しっかりと続けてのんでください。
- 二次除菌治療では約90%の患者さんで除菌ができます。
- 除菌が成功したかどうかは除菌治療終了後4週間以上あけて検査をすることでわかります。

### 一次除菌治療



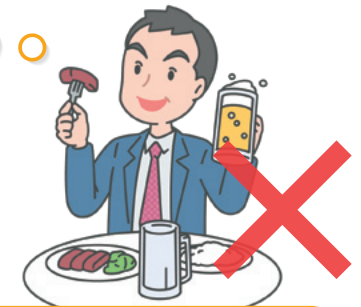
### 二次除菌治療



### 服用時の注意点

- 確実にピロリ菌を除菌するために、おくすりは必ず指示されたとおりに服用するようにしてください。
  - 自分の判断でおくすりを減らしたり、服用を中止してはいけません。
- ➔必ず、同時に3種類のおくすり(2種類の抗生物質と胃酸の分泌を抑えるおくすり)を1日2回(朝と夕)、7日間続けてのおむようになしてください。

今回の除菌治療の間は、**アルコールの摂取(飲酒)**を避けてください。



### 副作用発生時の対処法

- 便がゆるい・軽い下痢・食べ物の味が分からない、おかしいと感じる。  
➔自分の判断でおくすりを減らしたり中止せず、残りのおくすりをのみ続けてください。ただし、症状がひどくなるようでしたら、主治医または薬剤師にご相談ください。
  - 発熱・腹痛をとともなう下痢、便に血が混じる。  
➔すぐにおくすりをのむのを中止して、主治医または薬剤師にご連絡ください。
- その他、気になる症状を感じた場合には、自分の判断でおくすりを減らしたり中止せずに主治医または薬剤師にご相談ください。